

4. 活用可能な制度・ノウハウ等

過年度および今年度のアンケート調査の結果を踏まえ、市町村間で共有すべき制度・ノウハウ等を以下の観点に集約し整理した。

様式2の回答のうち、各市町村に共有すべき制度・ノウハウ等を観点に紐づけて共有する。

技術力確保

技術職員の不足により、市町村単独では実施困難な状況を示す。
県・国、その他関係機関の支援導入の方法等を共有する。

予算確保

毎年度の予算確保上、取組が進捗しない状況を示す。
補助金制度等の支援導入の方法等を共有する。

人員確保

職員の不足により、実施困難な状況や取組が進捗しない状況を示す。
人員を削減した上で取組を進める工夫等を共有する。

4. 活用可能な制度・ノウハウ等

様式2の回答から、活用可能な制度・ノウハウ等をハード対策・ソフト対策ごとに整理した。

ハード対策：①社会資本整備総合交付金事業

予算確保

活用自治体と取組項目

・【下市町】19. ため池ハザードマップへの作成、周知

制度・ノウハウ等の概要

- ・社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。
- ・対象事業の例は下図の**赤枠**参照

住宅・社会資本の整備		効果促進事業
<h4>基幹事業</h4> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道路 ○ 下水道 ○ 住宅 ○ 港湾 ○ 海岸 ○ 住環境整備 ○ 河川 ○ 都市公園 ○ 地域公共交通再構築 等 ○ 砂防 ○ 市街地 		<ul style="list-style-type: none"> ○計画の目標実現のため基幹事業と一体となって、基幹事業の効果を一層高めるために必要な事業・事務 ○全体事業費の2割目途
<p>(社会資本整備総合交付金の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業・観光振興等による活力ある地域の形成 例) 都市公園の整備 ・民間投資を誘発する取組 例) PFI等を活用した下水汚泥固形燃料化施設等の導入 	<p>(防災・安全交付金の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフラ老朽化対策 例) 公園施設の改修 ・生活空間の安全確保 例) 自転車通行空間の整備 ・事前防災・減災対策 例) 流域治水対策 (風水害・土砂災害への対策) 	<p>(社会資本整備総合交付金の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーケードモールの設置・撤去 ・観光案内情報板の整備 例) 観光案内情報板の整備 ・社会実験(レンタサイクル、道路の歩行者優先化等) ・計画検討・策定(景観計画、住生活基本計画等) 
		<p>(防災・安全交付金の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの作成・活用 例) ハザードマップの作成・活用 ・防災教育、防災訓練の実施 例) 防災訓練の実施 ・災害時のための資機材整備 (マンホールトイレ、可搬式ポンプ等) ・遊具の修繕 

※このほか、社会資本整備円滑化地籍整備事業(社会資本整備と地籍調査の連携を図り、社会資本のストック効果の最大化を図る観点から行う地籍整備事業)等がある。

出典：社会資本整備総合交付金等について(国土交通省ホームページ)「社会資本整備総合交付金の概要」に一部加筆

ソフト対策：①水災害教育のノウハウの共有

技術力確保

活用自治体と取組項目

- ・【五條市】53. 小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施
- ・【吉野町】54. 水害リスクの程度に応じた水災害意識啓発の広報(出前講座の実施)

制度・ノウハウ等の概要

- ・【五條市】**パワーポイント**を使って過去の水害に関する説明や**ハザードマップ**を**活用**した浸水エリア・避難施設の確認などの防災教育を実施(小中学生を対象)
- ・【吉野町】避難経路の確認・ハザード確認・防災備品の確認等(地域を対象)



パワーポイント・ハザードマップを用いた
防災教育の様子(五條市提供)



避難経路・ハザード・防災備品の確認を
する水害教育の様子(吉野町提供)

ソフト対策：②郵送でのやり取りによる個別避難計画の作成

技術力確保

人員確保

活用自治体と取組項目

・【宇陀市】24. 避難行動要支援者の避難支援体制の整備

制度・ノウハウ等の概要

・【宇陀市】平成25年度から避難行動要支援者登録制度を運用。内容の更新については、死亡や転居、施設入所等の異動は毎年追っているものの、登録者又は民生委員、自治会、避難支援者からの申し出を待っている状況。

・【宇陀市】**郵送**でのやり取りで、登録内容の確認・避難場所・避難路・避難支援者の特定を行い、個別避難計画の作成を実施

個別避難計画(宇陀市)

避難行動要支援者 個別避難計画 A面 (2023年12月現在)

※この計画は、普段から目に付く場所に保管ください。 作成日 令和5年12月27日

氏名	〔ふりがな〕ウダ ハジメ 宇陀 一		電話番号	電話1 0745-82-XXXX 電話2
住所	〒 633-0251 棟原下井足17番地の3	生年月日	平成19年12月1日	性別 男性 年齢 16
緊急時の連絡先 (1)	氏名	住所	連絡先	続柄
	宇陀 一朗	棟原下井足17番地の3	電話1 090-XXXX-XXXX 電話2	父
避難支援者の連絡先 (2)	氏名	住所	連絡先	続柄
	宇陀 一子	棟原下井足17番地の3	電話1 090-XXXX-Xxxx 電話2	母
避難予定場所 (3)	指定緊急避難所	指定避難所	福祉避難所	
	その他1	その他2	心境荘苑 その他3	
避難計画 (避難経路図) (4)				

裏面あり

避難行動要支援者 個別避難計画 B面 (2023年12月現在)

※この計画は、普段から目に付く場所に保管ください。 作成日 令和5年12月27日

氏名	〔ふりがな〕ウダ ハジメ 宇陀 一		電話番号	電話1 0745-82-XXXX 電話2
【本人申請情報】				
身体障がい	視覚障がい	聴覚音声、言語の障がい	肢体不自由	内臓障がい
○			○	
要支援/要支援	人工透析	本人希望	乳幼児	妊産婦
				外国人
				その他
				知的障害者:療育A1
住居建物種別	一般住宅			
住居建物構造	木構造・木質構造	居住位置		
		2 階建ての	1 階に居住	
特記事項	緊急通報装置なし 普段いる部屋:1階の右奥 寝室の位置:1階の右奥			
避難時に携行する医薬品等				
情報伝達での留意事項	直接、声をかけてほしい 耳の聞こえが良くないので、大きな声で呼びかけてください			
避難経路時の留意事項				
避難先での留意事項				
支援計画についての備考	持続的な医療行為が必要 胃ろうや中心静脈栄養のため、食事に対して配慮が必要です			
備考				
介護・福祉サービス等	事業所名	棟原〇〇サービス		
	所在地	宇陀市棟原XXXX		
	電話番号	0745-82-BBBB		
	ケアマネージャー	介護 明子		

※この支援プラン案に関する情報は、要支援者の災害時の安否確認、避難行動等の支援に役立てるものであり、それ以外の用途に使用したり、他に情報を流したりすることは禁止します。

宇陀市長 裏面あり